平成29年度(2017年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験問題
語学(英語)

I. つぎの文章を読んで設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(*Japan: A short history*. Tokyo: IBC publishing, 2006.)

- 1) 空所 A を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。
a. primordial b. original c. recorded d. own
- 2) 下線部①は何を指しているか、英語で書きなさい。
- 3) 空所 B を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。
a. northward b. southward c. westward d. eastward
- 4) 下線部②について、なぜなのか、その理由を日本語で説明しなさい。
- 5) 空所 C を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。
a. consideration b. feeling c. concern d. worry
- 6) 空所 D を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。
a. opposite b. opposed c. sympathetic d. close

II. つぎの文章をすべて日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Kömlös, Katalin. "Mozart the performer," in *The Cambridge Companion to Mozart*, ed. Simon P. Keefe, 215. Cambridge: Cambridge University Press, 2003.)

III. つぎの文を英語に訳しなさい。

- 1) 日常の些細なふるまいの中に、奇蹟とも言えるような出来事を発見して、はっとさせられることがある。
- 2) 火山の噴火は草原が森林に変わるのを抑えたため、野草が育つ空間ができたという。火山は自然の美しさを育んだが、それと同時に数多くの厄災ももたらしてきた。

平成 29 年度(2017 年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験
語学(ドイツ語)

I. ウィーン国立歌劇場(Wiener Staatsoper)の歴史に関する以下の文章を読み、設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典:ウィーン国立歌劇場ホームページ
<<https://www.wiener-staatsoper.at/Content.Node/home/opernhaus/geschichte/Allgemein.de.php>>

問 1 (A) から (D) にあてはまる前置詞を選びなさい。

- A: (ア) zu (イ) von (ウ) seit (エ) aus
B: (ア) Am (イ) Im (ウ) Um (エ) Zum
C: (ア) vor (イ) für (ウ) mit (エ) bei
D: (ア) hinter (イ) an (ウ) unter (エ) auf

問 2 (E) および (F) にあてはまる前置詞を書きなさい。

問 3 G に最もふさわしい単語を選びなさい。

- (ア) Realismus (イ) Kapitalismus (ウ) Kommunismus (エ) Nationalsozialismus

問 4 文章の内容に沿っているものを、以下から 3 つ選びなさい。

- (ア) モーリッツ・フォン・シュヴェイントは、歌劇場の建物の設計にも関わっている。
(イ) 歌劇場の設計にたずさわった二人の建築家は、ともに歌劇場のこけら落としを前に亡くなってしまった。
(ウ) 歌劇場の設計にたずさわった建築家のうち、歌劇場のこけら落としに列席したのはエドゥアルト・ファン・デア・ニユルだけである。
(エ) 歌劇場のこけら落としには、オーストリア皇帝と皇妃も列席した。
(オ) グスタフ・マーラーは、作曲家として歌劇場のために数多くのオペラを作曲した。
(カ) グスタフ・マーラーは、音楽監督として歌劇場の革新や質の向上に大きく貢献した。
(キ) グスタフ・マーラーは、音楽監督としてアルフレート・ローラーが作曲したオペラを舞台にかけた。

II. 以下は、あるピアニストのインタビュー記事から、ベートーヴェンのピアノソナタに関する発言を抜粋したものである。これを読んで、設問に答えなさい。

インタビューの質問

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：CD-Booklet zu András Schiff, *Ludwig van Beethoven. The Piano Sonatas, Volume VI: Sonatas opp. 54, 57, 78, 79 and 81a* (ECM Records 4766187, 2008), S. 5.

問 1 下線部①および②を和訳しなさい。

問 2 インタビューの質問として最もふさわしいものを一つ選びなさい。

- (ア) In demselben Zeitraum fällt Beethovens berühmteste Klaviersonate, die so genannte „Appassionata“. Kann sie, nach so viel Tradition und Wirkungsgeschichte, überhaupt noch neu und frisch erklingen?
- (イ) Was macht die spezifischen Merkmale, auch die besonderen Schwierigkeiten der zweiunddreißig Sonaten nicht nur für den Spieler, sondern auch für den Hörer aus?
- (ウ) Wer Beethovens Klaviersonaten studiert, denkt nicht nur den Ideen und Herausforderungen des einzelnen Werks nach, sondern sieht dieses im Kontext zugleich des Früheren und des Späteren. Was ist daraus für die Interpretation zu gewinnen?
- (エ) Beethoven erweitert das Klangbild, auch die Dynamik, den Raum der rhythmischen Kräfte. Worin sehen Sie die Differenz zu Vorläufern wie Haydn und Mozart?

III. あなたがいま興味を持っている作曲家(アーティスト)を挙げて、その音楽がどのようなもので、なぜあなたが興味を持っているのかについて、ドイツ語で書きなさい(いわゆるクラシック音楽の作曲家でなくてもかまわない)。

平成29年度（2017年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験問題
語学（伊語）

I. 次の文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

[出典 Coletti, Vittorio. 2003. *Da Monteverdi a Puccini*. Torino: Einaudi.]

II. 次の文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

[出典 Uzzani Giovanna. 2008. *Guida ai capolavori di Roma*. Firenze: SCALA.]

III. 次の文をイタリア語に訳しなさい。

1. 昨日私たちはコンサートに行きたかったが、行けなかった。
2. スイスでは、フランス語とドイツ語のほかに、イタリア語も話されています。
3. 昨夜あなたが食事をされたレストランは、いかがでしたか？
4. もしワインを飲んでいなかったら、私はあなた方を車で送っていくのですが。

平成二十九年(二〇一七年度)

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題

語学 日本語(古典)

一、次の文章を読み、後の問いに答えよ。

村上帝、月あかき夜、清涼殿のひの御さにて、女象を、すいきつものつゝばちにて、ひきすまして、たゞ一ところにおはしましけるに、かげのごとくなるもの、空よりきたりて、ひさしにるければ、なにもぞと、とはせたまひけるに、大唐のびはのはかせ、あざな劉次郎、廉承武に候。たゞ今このうへをまかりすぎ候が、御びはのばち音のいみじさに、まいる所也。おそらくは、貞敏にさづけ残しの曲の侍を、さづけてたてまつらんとおもふと申。御門ゑいかんのきおはしまして、御びはをさしつかはしたりければ、かきならして、是は廉承武がびはにて候。貞敏にふたつたび候し内にて候と申しけり。夜もすがら御談話有て、上玄石上曲をばさづけたてまつりけり。抑、西宮左大臣、月の夜ひはをひき給ひけるに、廉承武が靈きたりて、小女につきて秘曲さつくるよし申伝たり。かの靈二たびきたれるか、おぼつかなし。定頼中納言、法花経をよみますして、ひとり居たまひたるところに、楊勝仙人のきたれりける、此事に似たり。

〔十訓抄〕第十 可庶幾才能・芸業事より

問一、右の文章の中には、登場する人物の言葉として「」で囲んだ方がよい言葉が、三つある。それぞれについて、誰の言葉か示し、その内容を現代語に訳せ。

一つ目 だれが発した言葉か()

どのような内容か(訳) 〓

二つ目 だれが発した言葉か()

どのような内容か(訳) 〓

三つ目 だれが発した言葉か()

どのような内容か(訳) 〓

問二、本文中には、尊敬語としてどのような語が使われているか。本文中の何行目にどのような尊敬語がでてくるか指摘し、それが誰による誰に対しての尊敬語であるか、説明せよ。

問三、本文中には、謙譲語としてどのような語が使われているか。本文中の何行目にどのような謙譲語がでてくるか指摘し、それが、誰による誰に対しての謙譲語であるか、説明せよ。

問四、傍線部「此事に似たり」とあるが、何が何に似ているのか、説明せよ。

二、次の文章全体を現代語に訳せ。

丹波に出雲と言ふ所あり。大社を移して、めでたく造れり。しだの何某とかや知る所なれば、秋のころ、聖海上人、その外も、人あまたさそひて、「いざ給へ、出雲拜みに。かいもちひ召させん」とて、具もて行きたるに、おのおの拝みて、ゆゆしく信おこしたり。御前なる獅子・狛犬、背きて、後ろさまに立ちたりければ、上人いみじく感じて、「あなめでたや。この獅子の立ちやう、いとめづらし。深き故あらん」と涙くみて、「いかに殿原、殊勝の事は御覽しとがめずや。無下なり」と言へば、おのおの怪しみて、「誠に他にことなりけり。都のつとに語らん」など言ふに、上人なほゆかしがりて、おとなしく物知りぬべき顔したる神官を呼びて、「この御社の獅子の立てられやう、定めて習ひあることに侍らん。ちと承らばち」と言はれければ、「その事に候ふ。さがなき童どもの仕りける。奇怪に候ふことなり」とて、さし寄りて、据ゑなほして往にければ、上人の感涙いたづらになりけり。〔徒然草〕より

語注

知る所・・・領有する所

かひもちひ召させん・・・搔餅をこちそうしよう（人を誘うときの決まり文句）

殿原・・・男性一般に対する尊敬語

殊勝の事・・・素晴らしいこと

注記

問題の本文、約物（句読点、括弧等）は、それぞれ、以下にしめす活字本に示されたものを基本とし、適宜改訂および省略をしました。

一、永積安明校訂『十訓抄』岩波文庫、昭和十七年

二、全国国語問題研究会編『高校／古文トレーニングノート』受験研究社、刊行年不明